

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月15日(月)

事務事業		水洗化促進事業		担当課	企業経営課	担当係	料金係	管理番号	41211
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	1	都市整備の行き届いたまちづくり	根拠法令 個別計画等	下水道法				
	小項目	2	水の安定供給と下水処理の適正化						
	主要プロジェクト								
事業概要		公共下水道処理区域内の未接続者を対象に下水道接続を促進する。							
目的 ※何のために		衛生的で快適な生活を送るため。							
対象 ※誰・何を対象に		公共下水道処理区域内の未接続者。							
手段 ※どのように		市の広報紙に掲載するとともに、下水道接続に関する郵送による接続勧奨を実施する。							
成果 ※何を求めるか		公共下水道処理区域内における水洗化率の向上。							
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()							
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・公共下水道接続に関する啓発活動					・		
		・					・		
		・					・		
		・					・		
		・					・		
		・					・		

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
人件費	従事職員数(人)	0.93	0.93	0.98	0.83	0.83	
	人件費相当試算※	7,318,689	7,449,454	8,057,797	7,035,989	7,311,046	
総事業費試算		7,318,689	7,449,454	8,057,797	7,035,989	7,311,046	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	下水道接続に係る広報掲載回数	目標値	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		実績値	2.00	3.00	3.00	3.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年間2回掲載を目標値に設定 / 年間の掲載回数							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 2	接続勧奨郵送件数	目標値	件	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	
		実績値	112.00	116.00	155.00	153.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去の活動実績から目標値を150件と設定（供用開始後3年を超えた未接続者を対象とする）							
	実績値の算出式									
成果指標 1	下水道処理区域内における水洗化率	目標値	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	
		実績値	89.90	90.00	90.60	91.10				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去の水洗化率を踏まえ目標値を設定 / 水洗化人口 / 区域内人口							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	公共下水道への接続促進について、広報誌及びホームページへの掲載を行った。 令和2年度より戸別訪問から郵送による接続勧奨に切り替え、引き続き令和7年度も広範囲の未接続者を対象に接続勧奨を実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	水洗化率については、新たな区域の供用開始に伴う処理区域内人口の増加人数(437人)を水洗化人口の増加人数(890人)が上回ったため、前年度より上昇し目標値を達成する結果となった。
			評価者 料金係長 眞下 忠将

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	水洗化促進事業について、限られた人員で多くの対象者へ接続勧奨する中で、令和2年度より個別訪問から郵送により接続勧奨方法を切り替えたことで、コスト面はもとより効率化も継続的に十分図られているものと判断した。
			評価者 料金係長 眞下 忠将